

## 第 18 回 石綿分析技術評価事業の案内書

公益社団法人 日本作業環境測定協会

### 1 総 則

この要領は、石綿分析技術評価事業に関し、その実施に必要な事項を定めるものです。

本事業は、石綿障害予防規則その他の関係法令等の定めによるほか、この要領に従って実施し、ここに定めのない事項については、公益社団法人日本作業環境測定協会（以下「協会」と略）会長が決定することと致します。

### 2 事業の目的

わが国では、今後、建築物の解体等により発生する石綿による健康障害リスクが増大すると予測されています。

そのような状況の中で、労働者及び公衆の石綿による健康障害の発生を予防するためには、「建築物及び工作物等の石綿含有の有無及び程度を判定する分析技術」及び「作業環境及び大気中に飛散する石綿を採取して計数を行う技術」が必要であるため、本事業は、石綿の分析に携わる方を対象に、建材中の石綿の分析技術及び石綿繊維の計数技術のレベルを客観的に評価し、及びその向上を図ることを目的として実施するものです。

### 3 事業の概要

石綿（アスベスト）分析の技術及び精度について評価・認定を行います。「建材など固体中の石綿」（カテゴリー1）と「空気中に浮遊する石綿（カテゴリー2）」の2つのカテゴリー別を実施しており、カテゴリーのいずれか又は両方のカテゴリーにご参加いただけます。

### 4 参加対象者

石綿の分析に携わる方。

### 5 「カテゴリー1」（評価区分1～3及び5）の実施内容

カテゴリー1は、建材等に石綿が含まれているか、また含まれている場合はどの種類の石綿であり、どのくらいの割合（%）で含まれているかについての分析

技術の評価・認定を配付試料を用いて行います。

建材製品中の石綿含有率測定方法を定めた日本産業規格（JIS A 1481 規格群）の分類に合わせて表 1 の評価区分 1～3 及び 5 の 4 つの区分について評価及び認定を行います。

- (1) 表 1 のとおり、試験結果の判定につきまして、定性分析である評価区分 1 及び 2 はランク認定を行わず、合否のみ判定致します。また、評価区分 3 及び 5 は、合否判定後、合格者について A～C のどのランクであるかについて認定を行います。そのため、参加者は参加する評価区分のみを選択し、ランクの選択は不要です。（全区分参加も可）
- (2) 協会は、申し込みのあった区分の固体試料（どの評価区分も配付試料は 3 個 1 セット）を配付します。
- (3) 参加者は、固体試料受領後、実施要領を参照のうえ、分析を実施しその結果をウェブサイトに掲載される結果入力フォームに入力します。
- (4) 試験の判定結果は、参加者へ文書により通知いたします。評価区分 3 及び評価区分 5 において結果が B 又は C ランク及び不合格の方には 2 回目の試験の機会を設けております。（※但し、2 回目の試験を受験される場合、最終判定は 2 回目の試験結果のみで行いますので、ランクについては結果が良くなる場合、変わらない場合及び悪くなる場合のいずれの可能性もあります。）
- (5) 合格の有効期間はどの区分も 2 年間（有効期間の始期及び終期は結果通知文書に明記いたします。）です。  
また、例えば A ランクに認定された有効期間中は「A ランク認定者」の呼称を用いる場合があります。（B、C ランクも同様）
- (6) 合格の場合は、同意が得られた方につきましては、当協会ウェブサイトにて氏名と所属先を掲載いたします。
- (7) 固体試料の調製及び分析結果の判定等は、会長の諮問機関として設置する専門家委員会（学識経験者等で構成）の議を経て会長が決定することにより、公平公正を確保いたします。

表1 「カテゴリー1」の評価区分と参加者の実施事項

カテゴリー1の評価区分			指定する方法※
区分	試験結果の判定等	試験内容	
評価区分1	合格	固体試料について、「実体顕微鏡及び偏光顕微鏡（任意で電子顕微鏡）」を用いて「石綿が含まれているかの確認および含まれている場合は石綿の種類判別」（「定性分析」といいます。）を行う。	JIS A 1481-1 （による方法）
	不合格		
評価区分2	合格	固体試料について、「位相差・分散顕微鏡とX線回折装置」を用いて「石綿が含まれているかの確認および含まれている場合は石綿の種類判別」（「定性分析」といいます。）を行う。	JIS A 1481-2 （による方法）
	不合格		
評価区分3	Aランク	固体試料について、「位相差・分散顕微鏡とX線回折装置」を用いて「石綿が含まれているかの確認および含まれている場合は石綿の種類判別」（「定性分析」）並びに「石綿の含有率（何%含まれているか）の決定」（「定量分析」といいます。）を行う。	JIS A 1481-2 と JIS A 1481-3 （を合わせて用いる）
	Bランク		
	Cランク		
	不合格		
評価区分5	Aランク	固体試料について、「実体顕微鏡及び偏光顕微鏡（任意で電子顕微鏡）」を用いて「石綿が含まれているかの確認および含まれている場合は石綿の種類判別」（「定性分析」）並びに「X線回折装置」を用いて「石綿の含有率（何%含まれているか）の決定」（「定量分析」）を行う。	JIS A 1481-1 と JIS A 1481-5 （を合わせて用いる）
	Bランク		
	Cランク		
	不合格		

※JISでは、この他に新たに平成28年3月22日に第4部（JIS A 1481-4）：「質量法及び顕微鏡法によるアスベストの定量分析方法」が加わっておりますが、今回は、本法に係る技術評価は含みません。

## 6 「カテゴリー2」の実施内容

カテゴリー2は、顕微鏡「プレパラート」の石綿繊維の本数を正確に数える(計数といいます)技術の評価・認定を配付試料を用いて行います。石綿繊維の計数の方法は、「作業環境測定ガイドブック 1」(当協会編集)や環境省編の「石綿飛散防止対策マニュアル」、またはJIS K 3850-①「空気中の繊維状粒子測定方法―第1部」に規定する方法を用いることとしております。(表2参照)

- (1) 計数対象とする石綿繊維は、長さ $5\mu\text{m}$ 以上、幅 $3\mu\text{m}$ 未満、アスペクト比(長さとの幅の比)が3以上のものとしています。
- (2) 試料は、当協会が提供する位相差顕微鏡用プレパラートを使用します。
- (3) 参加者は、試料を受け取った後、試料に添付する説明書を参照の上、各自が保有する機器(位相差顕微鏡)により計数分析を実施し、その結果を指定の用紙に記入し、PDFファイルとして結果入力フォームより指定期日までに提出していただきます。
- (4) 協会は、提出された結果を、あらかじめ設定した合否の基準を用いて、合否及び合格の場合はA～Cのいずれのランクであるかを判定します。
- (5) プレパラート試料の調製、計数標準値の決定及び分析結果の判定等については、会長の諮問機関として設置する専門家委員会(学識経験者等で構成)の議を経て会長が決定することにより、公平公正を確保いたします。
- (6) 結果は、参加者に文書で通知いたします。また合格の場合は、同意が得られた方につきましては、当協会のウェブサイトにて氏名と所属先を掲載いたします(※合意が得られた方のみ)。なお、結果がB又はCランク及び不合格の方は2回目の試験の機会を設けております。(※但し、2回目の試験を受験される場合、最終判定は2回目の試験の結果のみで行いますので、ランクについては、結果が良くなる場合、変わらない場合及び悪くなる場合のいずれの可能性もあります。)
- (7) 合格の有効期間はA, B, Cランクいずれも2年間(有効期間の始期と終期は結果通知文書に明記いたします。)です。また、例えばAランクに認定された有効期間中は「Aランク認定者」の呼称を用いる場合があります。

表2 「カテゴリー2」の評価区分と参加者の実施事項

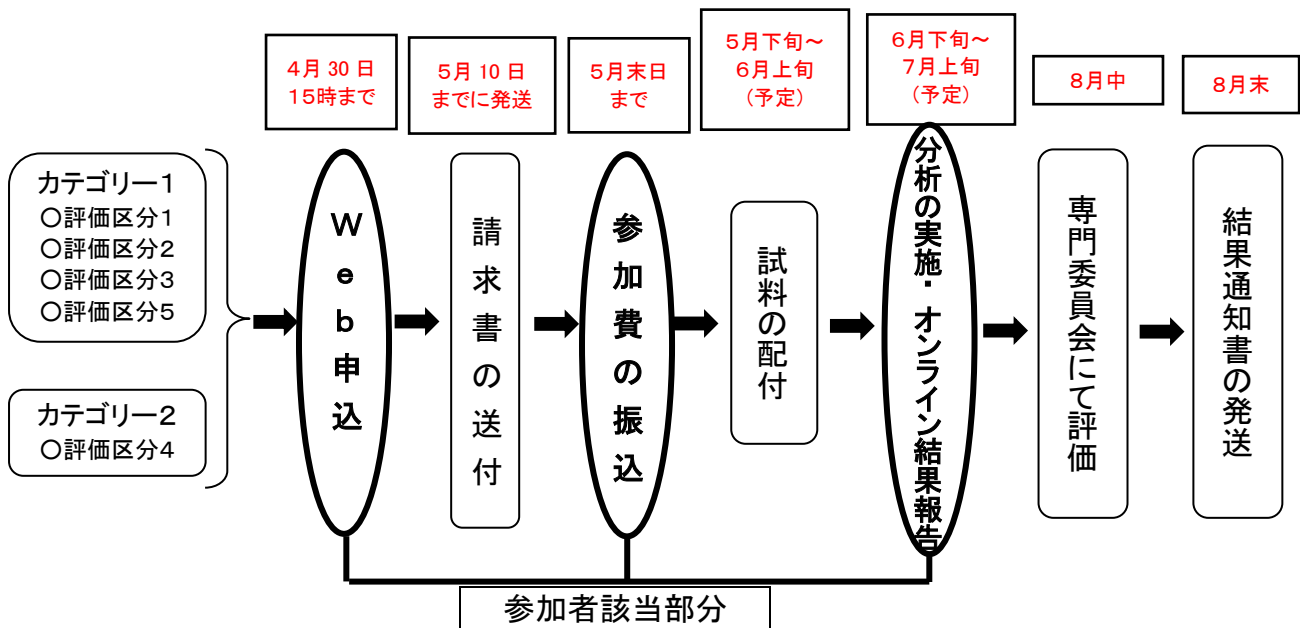
区分	試験結果の判定等	試験内容	指定する方法
評価区分4	Aランク	配付されたプレパラートについて、石綿の繊維の本数を位相差顕微鏡を用いて数える。	作業環境測定ガイドブック1（当協会編集）等の方法
	Bランク		
	Cランク		
	不合格		

## 7 実施スケジュール

事業の実施スケジュールは以下のとおりです。（図1参照）

なお、これらの実施予定期日に変更があった場合には、当協会ウェブサイトに掲載いたしますのでご確認ください。

- (1) 参加申込書の提出期間（参加者） 令和6年4月1日  
～令和6年4月30日15時まで（厳守）  
※お申し込みはWebのみとなります。
- (2) 請求書の送付（協会） 令和6年5月10日までに発送
- (3) 入金確認後試料送付（協会） 令和6年5月下旬～6月上旬（予定）
- (4) 分析結果の提出（参加者） 令和6年6月下旬～7月上旬（予定）
- (5) 判定結果の通知（協会） 令和6年8月末日（参加者宛に送付）



※参加者に行っていただく部分は、楕円の箇所、その他は当協会が行う手続きです。

図1 実施スケジュールの流れ

※評価区分4については、参加者数の関係上ラウンドロビン法にて試験を実施しており、試料の配付は第1期～第3期（申し込み多数の場合第4期までとし、申込者数の上限は330名となりますのでご注意ください。）に分けて送付いたします。試料の発送予定日はお申込み受付期間が終了次第ご案内致します。そのため、結果の提出期限も第1期～第3期で異なりますので、十分ご注意ください。なお、1期当たりの分析期間は2週間を予定しております。

## 8 申込方法

お申し込みは、当協会ウェブサイトにある申込受付フォームよりお願い致します。

お申し込み方法は次のとおりです。

- ① 当協会ウェブサイト (<https://www.jawe.or.jp/>) にアクセスいただき、トップページより「第18回石綿分析技術評価事業 ウェブ申し込みを開始いたしました。」をクリックしてください。
- ② 参加申込フォームが表示されます。参加申し込みフォームに必要事項を入力いただき、送信してください。
- ③ 送信後、参加申込フォームに入力いただいたメールアドレス宛に申込完了のメールが送信されます。申込完了のメールが届かない場合は研修センター宛（TEL：03-3456-1601）にご連絡ください。
- ④ お申し込み情報に誤りがあった場合はお手数ですが、電話にてご連絡をお願い致します。

## 9 申込期限について

申込締切日は、**令和6年4月30日（火）15時まで（時間厳守）**と致します。申込期限を過ぎますと、参加申し込みフォームは閉鎖致します。申込期限を過ぎたのお申込みは、いかなる場合も受付は出来ませんので、あらかじめご了承ください。

## 10 参加費について

参加費は、次頁の表3のとおりです。

なお、会員割引の適用は当協会に会員として登録している住所のみになります。例えば東京支店が会員の場合、同一会社でも大阪支店でお申込みいただいた場合は一般価格となりますのでご注意ください。

また、請求書は原則としてPDFファイルをメールにて送信させていただきますので、指定期日まで参加費をお振り込みください（※PDFの請求書をご希望でない方は、申し込み時に「PDFの請求書を希望しない」に必ずチェックを

入れ、請求書送付先住所をご入力ください。

なお、申し込みの状況に応じて試料を調製いたしますので、申し込み後のキャンセルにつきましては返金致しかねます。あらかじめご了承ください。

表3 参加費

	法作業環境測定機関 または 自社測定事業場の法人会員	一般価格 (協会の賛助法人会員・ 個人会員も含む)
評価区分 1～5	参加者1名1項目につき 46,200円(税込)	参加者1名1項目につき 82,500円(税込)

## 11 個人情報保護について

申し込みに際してご提供いただいた個人情報は、個人情報保護に関する法令およびその他の規範を遵守し、適切に取り扱います。

また、この事業の運営のために使用いたしますが、他に当協会が行うセミナーの案内、各種情報の提供等に利用させていただくことがあります。

個人情報のこのような利用に同意されない場合は、参加申込書で意思表示をお願いいたします。

## 12 その他

実施スケジュール等本事業に係る伝達事項については、当協会ウェブサイトでお知らせいたしますので、当協会ウェブサイト (<https://www.jawe.or.jp/>) を必ずご確認ください。

その他ご不明な点は、以下にお問い合わせください。

「本件担当事務局（連絡先）」

(公社)日本作業環境測定協会 研修センター

〒108-0014 東京都港区芝4-4-5

三田労働基準協会ビル6階

TEL: 03-3456-1601 Fax: 03-3456-5854